



皆さんこんにちは、お元気ですか？

今月のテーマは「マイカーライフ」ですが、もう一つのキーワードは「交通安全」です。

「どうして？」と皆さん疑問に思うかもしれません。

私は宇都宮市に住んでいますので、毎日車で職場に通っています。「大変！」と思う方もいるかもしれませんが、そんなことはないです！40分で着きますから。毎日新幹線に乗って東京まで通っている人もいますが、それは本当に大変だと思います！宇都宮市から下野市までの距離は全然問題ないのですが、自動車をたくさん利用しているうちに、栃木県の交通事情で気付いたことがいくつかあります。私が危ないなあ~と思ったのは....



子供が車に乗ると、座席ではなくあちこちに座っています。しかも、じっと座っている子は少なく、躍ったり、ジャンプしたり、走り回ったり...！もちろんシートベルトなしです！えええ...！危なくないですか？

霧・雨・夕暮れなどの時、ライトをつける運転手が少ないです。しかも車幅灯しか点灯せずに走っている車がたくさんあります。どうしてかしら？

信号の形です。最近、上下二段になっている信号機が増えています。例えば、上の段が赤で、下の段は、左向き、まっすぐ、右向きの三つの矢印が青く点灯します。すべての方向に行って良いということであれば、上の段の赤はどうしてあるの...？混乱してしまいます！信号というものは、交通補助手段として機能するべきです。分かりやすく明確で、交通状態をスムーズにする手段のはずですが、現在の信号は、この役割を果たしていないと思います。ライトは2箇所以上ついているとわかりづらく、信号の明確性がなくなります。



皆さんはどう思いますか？

私は生活課の一員として、9月に行われていた交通安全週間に貢献したいと思い、交通安全に関する記事を今月のテーマにしました！皆さん、交通安全ステッカーを車の窓ガラスに貼ることだけで事故を避けることはできません。ですから、早めにライトをつけて、自分がよく見えるためだけではなく対向車に早めに見てもらおうようにしましょう。シートベルトはお子様も！
皆さまのご協力をどうぞよろしくお願い致します。



今月のサプライズ



今月のキーワードについて、もう少し語っていいですか？

外国人でも、長年日本に住んでいる場合、日本の運転免許証を貰います。私もそうです。この間、免許を更新するため運転免許センターに行って、自分じゃないような情けない証明写真を撮り、講習を受けてきました。その時、交通安全に関するデータを聞き、とても驚きました！

例えば、死亡事故の件数は、平成元年以降栃木県はずっと10位以内だそうです。栃木県の運転マナー（譲り合いなど）が一番悪いと言われています。怖いですね！

皆さん、交通ルールに気をつけて、優しい運転をしましょう！

ニュースレター送信開始

11月1日から、下野市国際交流員のイベント情報をもっと簡単に広められるよう、ニュースレターの送信を開始します。パソコンメール、携帯メールとも可能です！

言語 日本語、ドイツ語、英語 期間 毎月1日に送信（例外有り）

内容 国際交流員のイベント（月に1回）語学講座受講生募集、国際交流協会のイベント等

送信希望の方は、次のメールアドレスに「ニュースレター希望」というメッセージを送ってくだされば結構です。

メールアドレス 50002@city.shimotsuke.lg.jp

ご自分の名前、住所、メールアドレスを忘れずに記入してください。ニュースレターの内容に関する申し込みは返信で可能です。ぜひ、ご利用ください。申し込みだけではなく、意見、アイデア、コメントなども大歓迎！

皆さんのメールをお待ちしています！（国際交流員ウリより）

国際交流員のイベント 第2回

～ドイツのクリスマス
おたのしみカレンダーをつくろう！～

「クリスマスまであと何日...?」ドイツのアドヴェンツカレンダーは普通のカレンダーではありません。きっと12月を楽しく過ごすことができますよ。

日時 12月1日(土) 午前9時30分～正午

場所 石橋図書館2階

参加費 一人500円

定員 30名(小学生2年生以上)

申し込み

11月19日(月)から28日(水)までに、生活課(☎40-5555)へ申し込みください。

ウリさんのイベントへの申し込みが、11月からはメールでも可能になりました。ご利用ください。

<メールアドレス>

50002@city.shimotsuke.lg.jp



中国語講座開講 ～受講生募集～

12月から中国語講座を開講するにあたり受講生を募集します。ご希望のクラスにお申し込みください。

《入門クラス》

場所 国分寺公民館第1研修室

期間 平成19年12月5日～平成20年5月28日

(毎週水曜日)午後7時30分～9時

《初級クラス》

場所 国分寺公民館第1研修室

期間 平成19年12月5日～平成20年5月28日

(毎週水曜日)午前10時～11時30分

月4回開講します。

受講条件

国際交流協会の会員であること。(年会費1,000円。入会は生活課窓口にて随時受付。開講前までにご入会ください。)

定員 各クラス15名

講師 田那(ディンナ)先生(中国出身)

受講料 月3,000円(教材費は自己負担です)

申し込み

11月12日(月)から26日(月)までに、国際交流協会事務局(生活課☎40-5555)へ申し込みください。

今からちょうど10年前、「第5回グリムの里夏期日本語講習会」参加大学生として旧石橋町に訪れた、アレクサンダー・コバチさんからおたよりをいただきました。

『10年間の付き合い』

下野市の皆様へ

今年の夏休み、久しぶりにホストファミリーの佐々木さんのお宅を訪ねると、広報『しもつけ』を見せてくれました。表紙には、書道を試みる4人の外国人の写真が載っていました。国際交流のプログラムで下野市に来ているドイツ人の大学生だと佐々木さんが教えてくれました。僕が同じプログラムに参加した時、写真の奥の男性と同じく『愛』を書いていた覚えがあります。計算してみれば、それからもう10年間も経っているんですね。

ライプチヒ大学でわずか半年間日本語を勉強していた1997年の夏、僕は初めて日本に来ました。日本語ができず、当然ホストファミリーとの会話は成り立たませんでした。幸いに英語の先生をしている娘さんがいたので、彼女を通じてコミュニケーションをとることができました。もともとなぜ日本語を学ぶようになったのかと聞かれると、特に漫画や武道好きであるなどの一般的な理由がなく、いつもただ「英語以外にもう一つの言語を流暢に話せるようになりたい。」と答える僕は、その夏、日本文化に触れながら日本語のワン・ステップ・アップを目指していました。

このときから僕と日本との付き合いが始まり、僕の人生は新たな経路に入りました。1998年、早稲田大学に留学し、同大学の女性と付き合い始めました。2001年、赤坂にある某投資銀行でインターンシップを受け、2003年、ライプチヒ大学を卒業し国立情報学研究所の博士課程に進学しました。2004年、例の早稲田大学の女性と結婚し東京の椿山荘で挙式、2006年、足利市赤十字病院で長女が生まれた後、家族とドイツに引越しました。今現在、シュトゥットガルトにあるダイムラー社の貨物自動車部でITコンサルタントとして働いています。三菱ふそうの連携会社なので、仕事でも日本語が活躍しています。

この長い付き合いのきっかけとなったのは、言うまでもなく10年前の夏でしょう。佐々木家そして下野市の皆様、僕や沢山の若いドイツ人に、日本を経験できる素晴らしいチャンスを作ってくれました。ありがとうございました。妻の育児休暇が終わったら、家族でまた日本に戻るかもしれないので、これからも、お付き合いをどうぞよろしくお願い致します。

『しもつけ』のページをめくっていたら、母校のライプチヒ大学の後輩であるウリちゃんが、再び国際交流員として勤め始めたとのニュースがありびっくりしました。頑張ってください！

